

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック	事業所名	看護小規模多機能 さくらの花
所在地	(〒 417 - 0855) 富士市三ツ沢 248-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

運営主体が医療法人であり、医師の施設への往診や常時医師と連絡が取れるようにもなっているため、緊急時にも安心できる環境となっております。季節感のある行事の企画、手作りの食を楽しんでいただき、医療と介護の連携をしながら、介護をおこなっています。館内は、ところどころに花をモチーフにしたモダンなしつらえを施し、広々として快適にお過ごしいただける施設となっております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 12 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 1 月 31 日 書面上	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (人) <input type="checkbox"/> その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>月1回以上の研修(内部・外部)勉強会・カンファレンス等を継続し、お互いの士気を高めサービス向上に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の研修 ・全体カンファレンス施行→ドクター・薬剤師・理学療法士・看技師・ケアマネ・介護士等多職種で行い連携強化に繋がった ・看護師の仕事マニュアルの詳細化と見直し→新看護師もスムーズに行えるように改善した 	<p>事業所内での情報共有は業務を円滑に進める上でも重要な事です 今後についてもこの取り組みを継続していただければと思います 今後も全体カンファレンスやマニュアル整備等、業務改善をお願いします 職員間で利用者の情報等を共有してサービスの向上に繋がっている 常に業務の中で問題意識をもって課題解決に努めている</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族の様々な思いや意向のもと、常に状況の変化に注意しながら、サービス提供をしていく ・看護職・介護職の連携の強化と統一したケアの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体カンファレンスに今年度より理学療法士も参加する事でリハビリ等の具体化やアドバイスもあり、サービス向上に繋がった ・常に状況の変化に注意しご家族との連携も強化している 	<p>多職種で最善策に取り組み、要望に応じたサービス提供ができるようにお願いします 多職種で利用者の特性や変化に応じた専門的なサービス提供に努めた</p>

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・多職種連携を密に取り、状況に応じカンファレンスを行い適切なサービス提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクター、看護師のアドバイスのもとカンファレンスを常に行っている ・情報共有を申し送り等で常に行った ・把握できていない職員には情報共有をした 	<p>医療依存度が高い方や病状が不安定な方も多いので多職種の連携が密にできている事は重要だと思います</p> <p>多職種の連携を図り特に医師・看護師のアドバイスを受け利用者一人一人の病状に配慮したサービス向上に努めている</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	コロナ禍の中でも、地域との関わりや繋がりで出来ることを行っていく 地域との関わりを持つよう努める	<ul style="list-style-type: none"> ・11月以降には原田の民生委員会が再開し会議前に施設として発表の場をもらい地域の方との交流の少し持つ事もできた ・6月には神戸地区、青葉台地区のケアマネと民生委員による会合に参加し地区との交流を深めた 	<p>地域活動への参加が少しずつ再開されていることが分かりました</p> <p>貴事業所の様子を地域に知っていただける機会を持つことは大切だと思います</p> <p>民生委員だけでは、地域の状況把握は不可能な為まちづくり協議会、町内会連合会などとの交流が重要となる</p> <p>これからの地域づくりはまちづくり協議会が核となるので、関わりを持つことが重要である</p>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		ご利用者様、ご家族様に寄り添い、よりよい環境づくりに徹し、安心して生活を送れるよう全職員の協働によりサービス提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種でのカンファレンスの場にて気づきが多く持てた ・ご本人様、ご家族と連絡を密に取り要望には良策の提供に務めた 	情報の共有、問題意識の共有ができサービスの向上に繋がった

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	ヒヤリハットを月 5 回以上上げ、事故防止に繋げる ご利用者様の病気等について勉強会を増やしスキルアップに繋げる	ヒヤリハット報告がしやすい体制を作ることで、事故防止にも繋がるのではないかと思います 職員間での共有	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	自立支援に向けた取り組みの継続 介護計画書の具体化と評価→歩行訓練○○メール.足漕ぎ○○回等(プレートを作成.実施の有無の明確化)を具体化し見直しをする	利用者の特性変化に応じた専門的知識に基づいたサービスの提供に繋がっている
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	退院前後のカンファレンス強化と継続	コロナ禍で病院での利用者との面接ができない場合もあると思いますが、利用者の状態像の把握と多職種での共有に努めていただけたらと思います
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	コロナ禍で中々難しいが、参加可能な行事や会合などに関しては、積極的に取り組んでいく	参加可能なものを検討し、継続的な地域との関わりをお願いします
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ご利用者様.ご家族様との信頼関係も保てご希望のサービス提供ができた 多職種の連携の強化によりご利用者様の変化にいち早く気づき、救急搬送へと繋げることができた	ヒヤリハットを職員間で共有していることで、利用者・家族との信頼関係が築かれている 全体的に問題なく遂行していると理解しています	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します